

414
A 1332



臺灣協會規約

第一條 本會ハ臺灣ニ関スル諸般ノ事項ヲ講

究シ臺灣ノ経営ヲ裨補スルヲ以テ目的トス

第二條 本會、為サント欲スル事業ハ約九ノ

如シ

一、臺灣ノ真相ヲ闡發スル事、附視察員ノ

派遣

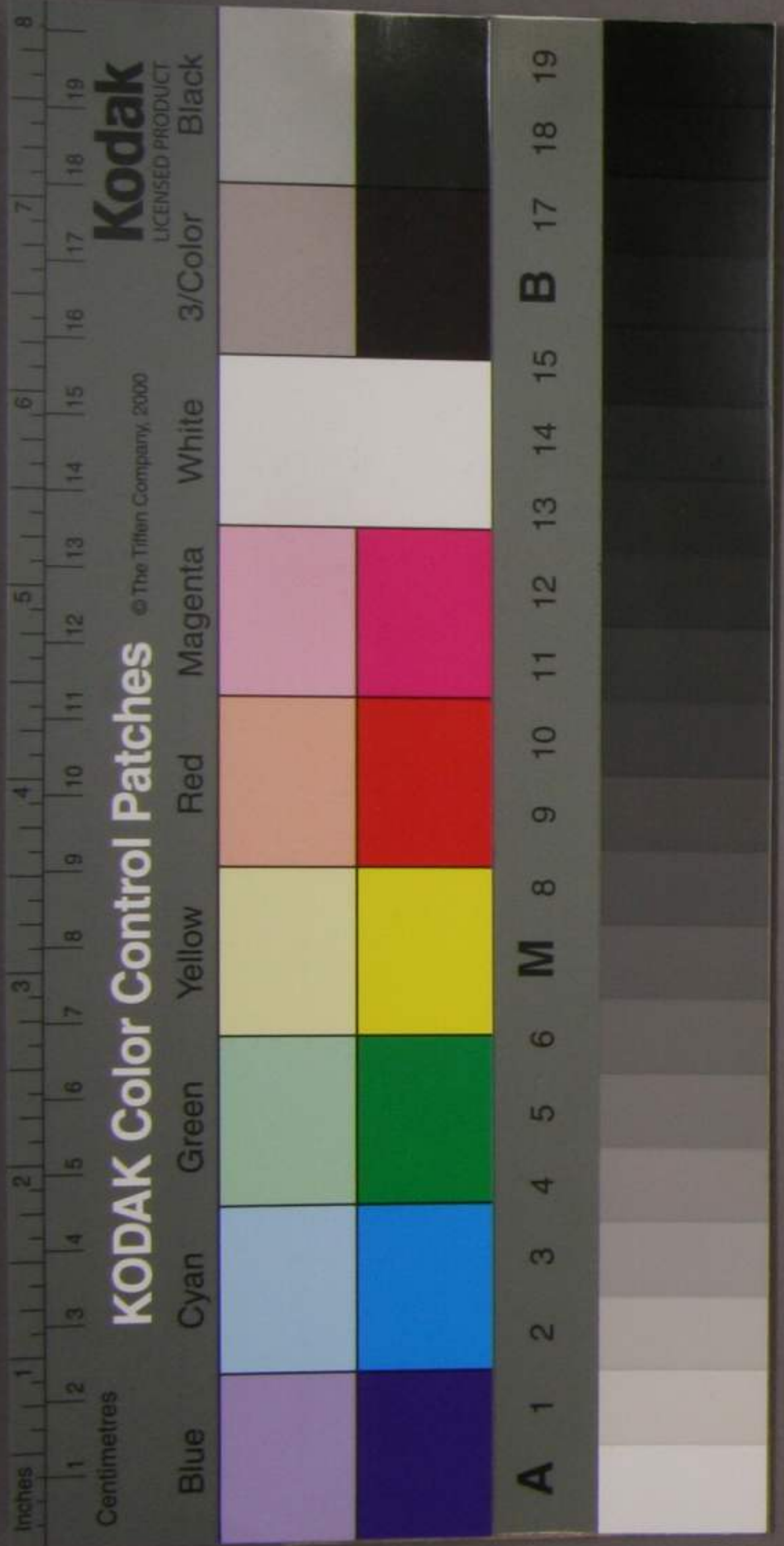
二、臺灣ノ産業品及ヒ臺灣人民ノ嗜好ニ適

スル本邦商品ヲ蒐集スル事

三、臺灣ニ移住シ又臺灣ヨリ上游スル者ノ

為ニ及フ限リ便利ヲ與フル事

大正十一年四月
限正
侯爵
寄四
贈



- 四、臺灣ニ関スル實業上ノ調査、紹介等ノ
依頼ニ應スル事
- 五、彼我言語練習ノ便ヲ圖ル事
- 六、臺灣會館ヲ設立スル事
- 七、會報
- 八、講談會
- 九、臺灣留學生ヲ監督補助スル事
- 十、臺灣ニ関スル左ノ書籍ノ蒐集（但海外
各殖民地ニ関スルモノヲモ集ム）
 - 一 通信、二 新聞、三 雜誌、四 著述、
 - 五 舊記、

第三條 本會々員ハ通常會員、贊助會員、

名譽會員ノ三種トス

- 一、通常會員ハ貳名以上ノ會員ヨリ紹介并
レ會頭ノ認許ヲ經タル者但東京及ヒ臺
灣在任ノ會員ハ毎月會費金五拾錢ヲ負
擔スヘク、其ノ他ノ地方在任ノ會員ハ
同金參拾錢ヲ負擔スベシ
 - 二、贊助會員ハ一回參拾圓以上ノ寄附金者
 - 三、名譽會員ハ本會ニテ推薦シタル者
- 第四條 本會ハ必要ノ場處ニ支部ヲ設ク但支
部ニ関スル特別ノ規約ハ會頭ノ認許ヲ受ク
ヘシ

第五條 本會ノ役員尤ノ如シ

會頭 壹名、副會頭 壹名、

幹事長 壹名、幹事貳名、

評議員 四拾名

役員ヲ定ムル手續キ左ノ如シ

一、評議員ハ會員中ヨリ撰擧ス

二、會頭、副會頭、幹事長、幹事ハ評議

員會ノ推撰スル所トス

三、役員ハ毎年一回改撰ス但再選スルコ

トヲ得

第六條 役員ノ任務左ノ如シ

一、會頭ハ本會ヲ總理ス

一、副會頭ハ會頭ヲ補翼シ會頭事故アル

片之ニ代ハル

一、評議員ハ會務ヲ議定ス

一、幹事長、幹事ハ會頭ノ指揮ヲ受ケ會務

ヲ處理ス

第七條 本會ノ會合左ノ如シ

一、總會、二、臨時總會、三、評議員會、

總會ハ毎年五月ニ之ヲ開キ前年間會務ノ

顛末並ヒニ會計決算ヲ報告シ役員ヲ改撰

シ本會將來ノ企畫ヲ議定ス

臨時總會ハ會頭必要アリト認メ又ハ會員

ヨリ請求シタル時評議員會ノ議ヲ經テ之ヲ

開ク

評議員會ハ毎月一回之ヲ開ク

附則

一、會報ハ毎月一回發兌シ講談會ノ成績及ビ諸般講究紹介ノ結果、本會ノ狀況等ヲ報告ス

二、講談會ハ隨時之ヲ開キ演説及ヒ討論ス

三、本規約ヲ施行スルニ必要ナル細則ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

四、本規約ハ總會ノ議定ヲ經ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス但實際ニ便ナラサルモノハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ニ修補シ置キ總會ヲ待テ改定ス

五、會員ハ評議員會ニ出席スルコトヲ得
六、幹事長、幹事ハ評議員ヲ兼ヌルコトヲ得

七、役員ハ名譽職トス但幹事ハ有給ニスルコトヲ得

臺灣協會役員

副會頭子爵桂 太郎

幹事長 水野 遵 會計監督 大倉 喜八郎

幹事 田川大吉郎 三枝 光太郎

會報編輯主任 文學士河合 弘民

評議員 伊澤修二 石塚剛毅 岩谷松平

井上甚太郎 土居通彦 千々岩英一

子爵岡部長職 金子彌平 金子堅太郎

門田正経 川村 惇 横山孫一郎

田口卯吉 田川大吉郎 曾根俊虎

中村純九郎 薄井佳久 野村政明

評議員會 每日二回
一會費 每月一元
二會費 每月一元
三會費 每月一元
四會費 每月一元
五會費 每月一元
六會費 每月一元
七會費 每月一元
八會費 每月一元
九會費 每月一元
十會費 每月一元

大倉喜八郎	大谷嘉兵衛	山口宗義
牧朴真	小手川豊次郎	近藤康平
寺尾亨	雨宮敬次郎	坂谷芳朗
佐藤里治	三枝光太郎	北川禮弼
木内重四郎	水野遵	三原経國
島田三郎	平野貞次郎	望月小太郎
鈴木萬次郎	鈴木充美	